

このはな ざくら



調整池のほてい草が開花

当院南側の調整池には、ほてい草が群生し、美しい花々が開花しました。ほてい草は、正式名称を「布袋葵（ほていあおい）」と呼び、洋名で「ウォーターヒヤシンス」という美しい花です。通常ですと10月まで花が楽しめます。



水野院長の巻頭エッセイ

ちよつと一言



いなべ総合病院・院長

水野 章

ある患者さんから 教えられたこと

かつて接する機会があった患者さんは、脳梗塞で半身麻痺があり、経過が長かったので体中の関節は動かさず、寝返りもできない、言葉も話すことができない方でした。眼は一点を凝視し、何かを見て、眼で追うということも頷くこともありませんでした。私は回診のたびに胸に聴診器をあて、「大きな呼吸をしてください！」と言いますが、常に反応はありません。でも、根気よく声を掛けてきました。ある春の暖かくなった日のことでした。いつものように回診で病室に入り、「随分、暖かくなりましたねー。田んぼの土手にはつくしが、顔を出していますよ。」などと話しかけていつものように「はい、大きな呼吸をして下さい！」といった時、今までは何の反応もなかったのですが私の声に合わせて深呼吸をしてくれたので

す。私は「合わせて呼吸してくれましたね。あなたは私の言うことを分かってくれていると思っていました。でも上手く返事ができなかっただけなのですね。」と言いました。以来、「コミュニケーションが取れることが分かり、一方的ではありませんが訪床するたびに、できるだけお話をしてくるようになりました。ご本人にとっては大変辛い毎日をご過ごしておられたことと察します。

聖路加国際病院の名誉院長で92歳で現役の医師として有名な日野原重明先生という方がいらっしやいます。多くの著書を出版しておられますが、その中に『豊かに老いを生きる』という本があります。そこに引用してある「患者が考えるクオリティーオブライフ」の14条件の中に「話す力がなくなっても、人間としての尊敬をもって扱ってほしい」という項があります。どんなに患者さんや老人が話せなくても、身体が動かなくても、耳が遠くても、痴呆があっても決してその人の人格をおろそかにしてはいけません。普通の状態と同じように理解力があると思つて接するべきであることを教えられたのです。また同時に患者さんや家族が言いたくても言えないで我慢しておられることとあるということを洞察して配慮すべきだと教えられました。

新任ドクターの 一言自己紹介

【ドクターへの質問】

出身大学
趣味・専門医・資格など



内科
竹園康秀医師

名古屋市立大学
コンピューター
日本消化器内視鏡学会専門医
臨床研修指導医(消化器)
日本医師会認定産業医



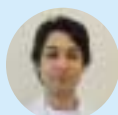
小児科
清水 愛医師

島根医科大学
野鳥観察
高等学校教諭1種



皮膚科
森田明理医師(教授)

名古屋市立大学
加齢環境
医学研究科教授
皮膚科専門医



腎臓内科
大塚康洋医師

名古屋市立大学
旅行
日本内科学会認定医
日本内科学会専門医
日本透析医学会認定医



内科
藤田浩志医師

名古屋市立大学
卓球
一般内科



外科
原 賢康医師

名古屋市立大学
読書
消化器外科
日本外科学会認定医



皮膚科
磯村 巖医師

名古屋市立大学
ドライブ
映画鑑賞

このはなNEWS

いなべ医師会 学術講演会開催

去る2月14日、当院2階会議室にて、いなべ医師会の学術講演会が開催されました。日頃、いなべ地域の医療に携わる医師らがネットワークを組み、交流や情報交換を図るいなべ医師会。今回は、当院副院長・相田医師を座長に、名古屋市立大学・整形外科教授・大塚隆信先生を招き、「骨軟部腫瘍における診断の基本戦略と最小侵襲治療の最前線」を演題にお話を聴きました。



当院医師・職員らが最先端医療について学びました



現場をベースに 看護師研究発表会

日頃、院内で患者様をお願いするアンケート。これらは、よりよい医療サービスを実現するために役立てられています。2月18日、当院に勤務する看護師による研究発表会が行われました。看護師はチームを組み合わせながら、自分たちが決めたテーマに沿い、患者様へのアンケートなどを参考に研究し、スライドなどを使い成果を発表しました。発表後、様々な質疑応答も行われました。

勤務時間外でもこうした活動を行う看護師。現場の問題点解決に絶えず努力をしています。研究発表への鋭い質問に対し緊張しながら答える。



いなべ総合病院 定期母親教室

はじめてのお産は、両親問わず不安になるものです。そこで、当院では、妊婦検診を受けて頂いています。その時妊婦様（夫婦受講可）を対象に、毎月1回、母親教室を行っています。まずは、出産に関するスライドを見て勉強をしていただきます。その後、産科医師から出産に向けて注意する点、誰もが不安になりそうな点を解説します。また、当院専門栄養士から食事のアドバイスも行われます。



産科医師の解説に聴き入る新米ママさんたち

今回は『CT』です。



いなべ総合病院・女医キャラ
Dr.いな美



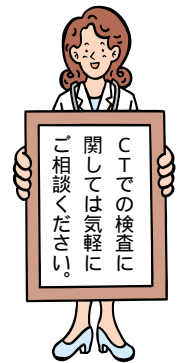
ワークステーション使用の頭蓋骨・脳血管・拡大立体図



股関節部の水平断面と前額断面を同時収集

現代の医療は、大型医療機器の技術的進歩が目覚ましく画像診断が非常に高度になりました。最も身近なX線（レントゲン）撮影では発見しにくかった病气や怪我が詳細に識別できる機器がCT（コンピュータを搭載した断層装置）です。

当院設置のCTは、今までのCT装置とは違い、最先端医療機器の代表である「マルチディテクタCT」という装置です。マルチディテクタとは検出器を複数列備え、X線管球が1回転する間に複数枚画像収集できるという優れたものです。単純CTであれば、5〜10分の所要時間で全身の輪切り画像が撮影できます。驚異的な時間の短縮と薄いスライス幅は、高画質、超詳細で撮影入室時間の短縮と被ばく線量の低減をもたらしてくれています。また、同時期に購入



当院のCT室

したワークステーションにより、画像データを高速処理し、多方向よりの断層面の表示と立体的な3次元画像を瞬時に観察することが可能です。

当院は、開院と同時に地域の皆様により安心して検査を受けて頂けるように最先端画像診断機器を完備しております。マルチディテクタCTを始め、最先端機器を使用し、人体内部の情報を画像として表示し、診断と治療方針の決定に役立てております。

今まで看護部長を勤めた柴垣悦子が、昨年度末に退職しました。そして、今年度から新看護部長として、伊藤恭子にバトンが渡されました。お一人にそれぞれの思いをお聞きました。

患者様への思いやりの心を大切に、質の高い看護の提供をめざして

一員弁厚生病院からいなべ総合病院への3年間を振り返って

春暖の候、ますますご清栄のこととお喜びを申し上げます。
このたび平成16年3月31日付けをもちまして、いなべ総合病院を退職いたしました。
看護部長在任中は、ご協力とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新病院移転を無事に終えることが出来たのも、皆様方のひとかたならぬご厚情の賜と感謝しております。

私が3年前に赴任しましたおりは、また、少々カビくさいといえるような「員弁厚生病院」でございました。そして、新しく生まれ変わった「いなべ総合病院」で退職の時を迎えることとなりました。その大きな変換の時に立ち会うことができたことは、大変光栄なことでした。私は、看護部長に就任してから今日まで、ただがむしゃらに進んでまいりましたが、振り返ってみますと、そのなかに常に「患者さまへの思いやりの心」という信念がありました。これは、当院の理念でもあり、常に患者さまの身になり、あらゆることを患者さま中心に考え、笑顔で行動するということとございました。

具体的には、看護体制の充実のために看護師の増員をこころがけ、看護支援システムの導入により情報の迅速化を図りました。また、院内外での教育充実と院外研修への積極的参加の機会を設け、専門職として研鑽を積み、みなさまにより質の高い看護を提供したいと考えました。そしてなにより力を注いだことが、私の信念そのものである接遇とございました。身だしなみや言葉、笑顔というものが、人間関係のコアであると考え、自らがモデルとなることができるよう行動して参りました。

それぞれが十分に機能しているかと問われると、地域のみなさまからは「まだまだ未熟」といってお言葉をいただく事になるのかもしれませんが、未熟であるからこそ、今後成長の可能性があると考えております。

これから先は、若い力でこれからの看護部を率いてくださる伊藤恭子新看護部長にお任せして、見守っていくことしたいと思います。

本日にまでのご支援ありがとうございました。なお、伊藤看護部長にも、私同様のみなさまの暖かいご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

旧看護部長

柴垣悦子



From 健康管理センター

平成16年2月から、健康保険組合連合会・UIゼンセン同盟などから指定を受けました。



いなべ総合病院 脳神経外科医長
嶋津直樹医師

「いなべ総合病院の健康管理センターでは、従来の人間ドックに加え、今年1月から脳ドックを開設致しました。脳ドックでは、脳や脳血管の健康状態を詳しく調べることにより、脳疾患の予防や早期治療の必要性があるかどうかを、受診される一人一人の方に応じて説明することになっています。」

こんな症状がある方は是非、脳ドックをお勧めします。

頭痛・めまい 耳鳴り・視野狭窄・視力低下
手足のしびれ 生活習慣病といわれている方
歩行異常 物忘れがひどい 言葉が出にくい
ストレスが多くなった感じている時
特に、身内に脳血管障害など脳卒中のいる方など

【検査内容】

- ・身体検査 ・画像診断 (MRI・MRA)
- ・頸部超音波検査 ・心電図
- ・血液検査(血液一般・生化学検査)
- ・眼科(視力・眼底・眼圧)

【費用(消費税込み)】

- ・脳ドック 4万3千円
- ・日帰りドック受診者はオプションにてMRI・MRAのみを2万5千円

脳ドック等の予約、お問い合わせは

いなべ総合病院・健康管理センター

TEL 0594-72-8711

いなべ総合病院

TEL 0594-72-2000

平成16年1月より『脳ドック』を開設致しました。

当院では、毎週月・金曜日に脳神経外科専門医による診察と結果説明を行っております。

脳ドックの内容

- A)脳ドックコース(専門医による結果説明と診察)
- B)人間ドック・脳ドックを両方受診するコース(生活習慣病と併せてMRI・MRAの結果を書類にて報告)

検査案内

原則として所要時間は午後より、Aコースの約2時間 Bコースは約3時間くらいです。

検査区分	項目	検査場所
一般検査	問診 身体・血圧測定	健康管理センター
採血	血液一般 生化学検査	健康管理センター
生理検査	安静時心電図	健康管理センター
眼科領域	視力測定、眼底、眼圧	健康管理センター
MRI	MRI(磁気共鳴撮影) MRA(磁気共鳴血管撮影)	画像診断
超音波	頸動脈超音波	健康管理センター
診察	診察 結果説明	健康管理センター または 脳神経外科外来
保健指導	日常生活指導 手引き	健康管理センター

新看護部長

伊藤恭子

地域の病院として
信頼され続けるために

風靡る新緑のまぶしい季節となりました。
この春、鈴鹿中央総合病院より転勤し、柴垣看護部長の後任として、就任させて頂きました。自然に恵まれ人情味あふれるこの員弁の地で、再び勤務できることを嬉しく思っております。

新病院が開設され、この秋で早、三年目を迎えようとしております。これからもますます、地域の皆様に信頼され、安心してご利用頂ける病院として成長し続けるために、看護職の果たすべき役割は大きいものと受け止めております。患者さまのご意見を尊重し、おひとりおひとりの患者さまにとって、最良の医療を受けて頂けるよう、努力してまいります。その為には、病院各分野職員、開業医、行政、家庭と連携をとって進める機能したチーム医療が大切と考えております。院内外を問わず、患者さまと向き合い医療チームの連携を強化していくことが大切と考えております。私達看護職員もその一端を担うべく、日々努力していきたいと思っております。

地域の皆様と共に歩む病院として、病院へのご意見・ご要望をお気軽にお寄せいただけるよう願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



退職された柴垣旧看護部長(右)と新たに就任した伊藤新看護部長(左)(柴垣部長送別会にて)

to from

タツタ



地域との連携をめざして

いなべ総合病院 出前講演会報告

いなべ地域唯一の総合病院として、当院は地域医療に全力を尽くすことをテーマにしております。そうした中で、「どんどん自分たちから地域へ出てゆこう」という発想のもと行われているのが、当院のドクターなどによる『出前講演会』です。開始以来、様々な団体、企業などから声を掛けていただき、大変ご好評を頂いております。今回は、相田副院長による藤原町と、妹尾副院長による四日市での出前講演会の様子をご紹介します。



当院の相田直隆副院長による藤原町石川地区健康講演会の老人会での出前講演会。

参加された方々も大変ご熱心に聴いて頂きました。



お招きくださりまして
大変ありがとうございました。
ございました。

当院の妹尾恭司副院長による講演会。今回は、四日市市の八千代工業から出前講演を依頼されました。「健康管理と検診の大切さ」をテーマにお話しました。



地域の施設、団体、企業へ参ります。 下記が当院の各科医師等が用意しています講演内容です。

【内科医師】生活習慣病(健診データの見方・がん・高血圧症・心臓病・脳卒中・糖尿病・高脂血症・痛風・肥満)、肝臓病、腎臓病、貧血、消化器の病気【外科医師】がん(乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がんの治療)、鏡視下手術(カメラを使った手術)、痔の治療、胆石の治療、褥瘡の治療と管理、人工肛門の管理、外科手術と栄養【整形外科医師】骨粗しょう症、肩こり、腰痛、関節の痛み、しびれ【眼科医師】視力障害、白内障、緑内障、眼底検査【泌尿器医師】排尿障害、前立腺肥大、前立腺がん、尿失禁、尿路結石【脳外科医師】脳卒中、くも膜下出血、脳腫瘍、しびれ、頭痛【産婦人科医師】出産ほか、更年期障害、子宮がん、不正出血、子宮内膜症【耳鼻科医師】花粉症、耳鳴り、めまい、味覚・嗅覚障害【小児科医師】予防接種、脱水、アレルギー【薬剤師】くすりの知識・飲み方【検査技師】検査方法、健診データの見方【放射線技師】レントゲン検査・MRI/CT検査でわかること【理学療法士・作業療法士】リハビリの方法・進め方、肩こり、腰痛予防、寝たきり予防【看護師】家庭介護、救急法、乳がんの自己診断、介護実習、生活習慣病予防【助産婦】妊娠・出産・産後・育児【社会福祉士】福祉制度、社会保険、介護保険、介護機器、医療相談【事務部門】医療状況、地域医療事例、医療保険制度



「美しい山野草(女)に、近づくと、雪の音、勇気」と寒さ「忍耐」です。

これから、ますます季節もよくなります。一緒に楽しみませんか。入会を希望される方、一緒に山を楽しむみたい方は、病院か、地域在住のいなべ総合病院職員にお気軽にお尋ねください。日々の健康を目指し、山登りで体を鍛えましょう。

いなべ総合病院
地域交流型登山クラブを発足!

こんには、遊山会です。

いなべ総合病院・遊山会事務局 諦乗 正

4月に、結成いたしましたこの会は、いなべ総合病院の窓からなくてはならない、どこよりも誇れる借景山系である鈴鹿山系・養老山系を、各自の健康をいたわりながらゆっくりと登り、山野草を見に行こうという思いから発足いたしました。

皆様の中には、「肥満がみなのに、大丈夫か?」とか「足でも骨折するのでは、ないか?」とか、棧敷席から、流し目で思っている方もあるかと思えます。大丈夫です。この会は、医師、看護師、薬剤師、リハビリ士まで同行させております。救急対応には、万全の体制を取っており、何かあれば、病院とも連携がとれています。他の登山会との、大きな違いはここにあります。

「その同行者が、あぶないのでは、(笑)」「これも、大丈夫です。会の顧問は、地域の山を愛して尽きない、知る人ぞ知る、員弁地区安全協会事務局局長の新貝里美さんです。安心して登れます。

藤原岳・御池岳は、山野草の宝庫であり、日本百名山に選ばれております。すごく綺麗な山です。左の写真は、合成写真ではありません。4月4日に登った時の福寿草に雪です。

「感動いたしました」

参加者募集

こんにちは！
各科職員を笑顔で紹介



【第2回】

リハビリテーション科

新病院に移転し、当科も総合リハビリテーション(良質で高度な治療・訓練が提供できる施設)として生まれ変わり約2年が経とうとしています。スタッフも理学療法士6名、作業療法士3名と充実しました。理学療法部門では主に患者様の手・足のこわばりを良くしたり、筋力をつけたり、歩くことができるように、また、作業療法部門では主にいろいろな道具(日常ありふれているものから、特殊なものまで)を用いて訓練し、日常生活ができるようにお手伝いします。いずれの部門も患者様、ご家族、または他の医療従事者と協力し合って、社会復帰に向けてお手伝いできる体制を整えておりますので、今後ともよろしくお願致します。



【理学療法部門】同科技師長／豊田芳典 理学療法士主任／小野塚明岳
理学療法士／松久正喜 石巖範英 大谷博登 柳川洋子 補助員／小林ゆかり
【作業療法部門】作業療法士／伊藤陽子 小坂悠貴子 山中千幸

STAFF LIST

当院で生まれた
ベビー紹介

エンジェル
スマイル

おめでとう
ございます！



平成16年4月8日生
坪井みな子様ベビー

平成16年4月7日生
林 栄子様ベビー



看護師日記リレー
笑顔同封



入野直子

私は看護師になる前、会社に勤めていました。職種にもよると思いますが、以前の仕事では人とふれあう機会が少なく、何か物足りないと感じることがありました。看護師として働き始めて2年目に入っただばかりですが、看護師になってよかったと思っております。仕事で大変だなと思うことや、つらいこともたくさんありますが、患者さまの笑顔に支えられていると感ずることがあります。いろんな患者さまが入院されているので勉強になることがたくさんあります。色々な人と接するなかで自分が成長し、患者様に反映していけたらいいと思います。

看護師の仕事は、日々勉強していかねばならないことがたくさんあります。先輩がたは、看護師としての誇りを持って仕事をしておられ、私も看護師としての誇りを持って仕事ができるように精一杯努力していきたいと思っております。

看護コラム

5/12

看護の日に お花を贈りました！

5月12日は、『看護の日』でした。当院では「看護に親んでもらおう」と患者様にメッセージカード付きのサルビアやマリーゴールドなどのお花をプレゼントしました。また、中庭周辺に介護用品の展示コーナーを設置し、訪問看護のビデオ上映なども行いました。希望者の方には、健康診断を実施し、血圧や体脂肪の測定なども行いました。



		月	火	水	木	金
内科	二診察	妹尾(消化器)	鈴村(循環器)	竹園(消化器)	小沼	妹尾(消化器)
	三診察	清水(初診)	後藤	清水	小林	鈴村(循環器)
	初診(四診)	小沼	小林	大塚(腎臓内科)	竹園(消化器)	後藤
	初診(五診)		大塚(腎臓内科)			藤田
外科	外来	石川(胃・肝・胆・膵) 原	水野(大腸・肛門) 毛利(消化器)	水野(褥瘡・ストマ外来) 石川(胃・肝・胆・膵)	石川(胃・肝・胆・膵) 毛利(消化器)	水野(大腸・肛門) 原
	乳腺外来(午後)			石川(予約制)		
脳外科	外来	嶋津	岡	嶋津	岡	嶋津
整形外科	初診	本郷	相田	緒方	鈴木	多和田
	予約再来1	相田(脊椎)	鈴木(関節・スポーツ)	相田(脊椎)	緒方(外傷)	鈴木(関節・スポーツ)
	予約再来1	多和田(外傷)	緒方(外傷)	多和田(外傷)	本郷(リウマチ・関節)	本郷(リウマチ・関節)
産婦人科	外来	金原	大野	金原	金原	大野
	午後		手術	更年期外来		褥婦検診
耳鼻科	外来(8:45~12:00)	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	杉山
	外来(14:30~16:00)	予約検査	佐藤		手術	佐藤
眼科	一診察	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内
	二診察	片岡				大野
	外来(午後)	手術	予約検査	(予約検査)	予約検査	予約検査
泌尿器科	外来(午前)	坂倉	坂倉	戸澤	坂倉	坂倉
	外来(午後)	予約検査	予約検査	手術	予約検査	予約検査
小児科	一診察	安藤	安藤	安藤	大河内	安藤
	二診察	大河内/瀧口(第1日曜のみ)	清水	清水	清水	大河内
	午後(14:00~15:30)	予防接種	予防接種	乳児検診	慢性外来	一ヶ月検診
皮膚科	第2金曜日					森田
	第1・3・4・5金曜日					磯村

INABE General Hospital Information

いなべ総合病院からのお知らせ

皮膚科を開設しました。

平成16年4月から毎週金曜日に診察致します。
受付は、午前8:30~11:30までです。

毎月第2金曜日は、森田医師(名市大教授)
第1・3・4・5金曜日は、磯村医師
が担当致します。

4月1日から診療報酬が改定されました。

【主なもの】

初診料	250点	255点
外来診療料	68点	72点
褥瘡患者管理加算(新規)	20点(入院中1回)	
肺血栓塞栓予防管理科	305点(入院中1回)	
介達牽引	35点(1日につき)	

診療報酬とは？

医療保険で診察を受けたときに、その対価として医療機関に支払われる費用を『診療報酬』といいます。
診療行為毎に点数化されていて1点が10円となっています。

いなべ総合病院 TEL0594-72-2000

電話番号はお間違えなく

診療時間

外来診療受付/午前8:30~午前11:30
診療時間/午前8:30~午後5:00

休診日

土曜・日曜・祝日・年末年始

面会時間

平日/午後1:00~午後8:00
土・日・祝/午前10:00~午後8:00

尚、当直医を置き、24時間体制にて救急対応をしております。
急な場合はご一報下さい。

いなべ総合病院広報
三重厚生連

このはな
ざくら
通巻
第2号



次号は7月下旬の発刊予定です。

企画・発行/いなべ総合病院広報委員会

三重県いなべ市北勢町大字阿下喜771 いなべ総合病院内

取材・デザイン・印刷/編集プロ(有)地球デザイン